



市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどりと清流

2005年 12月発行 第47号
日本共産党中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 Tel.599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円
日曜版1ヶ月 800円
お申し込み・南多摩事務所
Tel.042-374-4384
又は中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



対話活動で出された皆さんのご意見・ご要望

実現に向けてがんばります 中野あきと

いま私は、「みどりと清流」をお読みいただいている皆さんや「赤旗」読者の方々をおたずねして、ご意見やご要望をおうかがいしています。これまでも多くの方々にお会いして本当に沢山の声が寄せられました。ありがとうございました。

すでに関係部署に交渉して実現したものもありますし、交渉中で継続して取り組む必要のものもあります。また、大きな問題で政策として練りあげ、今後実現に向けてがんばらなくてはならない課題もあります。とりあえず、これまで寄せられている声をまとめてみました。これからも更にこうした対話活動を地域で続けてまいります。よろしくお願いいたします。ご意見をご遠慮なくお寄せ下さい。

- ◇《交通・障害者問題・その他》
- ◇ミニバス路線の増便（南平）
- ◇ミニバス路線の変更・改善（南平9丁目・西平山）
- ◇南平体育館の改修・充実
- ◇市立病院について（待ち時間、ドック・検診体制などの改善・充実）
- ◇障害者のプール利用の支援（リハビリでの利用）
- ◇市・都などの障害者施設の周知及び充実
- ◇議員年金、視察などの廃止・見直し

- ◇《子育て・教育》
- ◇幼児教室などへの支援
- ◇学童クラブの増設・職員の配置
- ◇幼稚園に対する支援策
- ◇学童の登下校の防犯対策
- ◇保育園舎などの老朽化対策



- ◇《住環境にかかわる問題》
- ◇未定になっている平山台小の跡地利用
- ◇都営住宅をつなぐ京王線の地下通路の改修
- ◇階段等への手すりの設置
- ◇カルチャー施設の充実・増設
- ◇地域の防犯対策
- ◇道路舗装の改修（南平2丁目など）
- ◇豊田一号公園の実現
- ◇西平山一号公園用地の整備
- ◇米軍機の騒音問題（平山6丁目など）
- ◇ペットなど飼い主マナーの啓発
- ◇除雪問題（有償ボランティア制度など）
- ◇都道の騒音・振動（平山一・二丁目）
- ◇区画整理問題（要望多数）

中野あきと市議・十二月市議会本会議質問

少人数学級・学級崩壊・七生中の施設など

《少人数学級実現で問われている市の対応》

全国四十五の道府県に広がっている少人数学級の動き。国のレベルでも必要性を打ち出すようになってきました。「学級崩壊」「授業が成り立たない」などの事態に対応するためにも、日野市でも実現に向けて踏み出す必要があります。

市教委は「都教委などの対応を見守りたい」としていますが、中野市議は、学級編成は市町村にゆだねられる方向がとられるもとで、近隣の他市でも検討が始められている事実などを指摘し「日野市でも実現に向けて踏み出すべきだ」とつよく迫りました。

《学級崩壊の対応策の制度化を》

「学級崩壊で授業が成り立たない」という問題は、七生中の一部学級などにも見られ、教職員、保護者の中で真剣な議論が行なわれるなど、特別な問題ではなくてきています。中野市議は七生中への対応をただしなが、事態発生に機敏に対応するため、他市にもみられる対応策の制度化の確立を求めました。

《早急に七生中の施設の改善を》

廊下の傷みがはげしい、工作室のドアが開かないなど、七生中の施設の改善は待ったなしの状況です。市は、耐震対策優先という理由で改善を先送りしています。中野市議はただちに予算をつけて改善するようつよく迫りました。

その他、全ての小中学校のトイレの改修の進行状況をたしました。

また新撰組の施設が

旧王子信用金庫建物を観光施設に

日野本町の甲州街道沿いにあった八王子信用金庫が、多摩信用金庫との統合に伴い閉店となりました。日野市はこの敷地及び建物を、新町にある東光寺第二市営住宅跡地の一部と等価交換し建物を改修。新撰組関連の観光施設として活用する計画であることが来年度予算編成方針で分かりました。

馬場市長は「日野宿通りの再生・整備」「幕末・明治維新の街並み再生」を最重要施設

みえ子の飛びある記

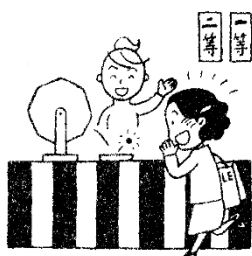


福祉や教育に使うお金はある 都議会議員 村松みえ子

決算委員会で審議していてつくづく感じました。これまで都は、財政難だと言って高齢者や障害者、子どもの教育予算まで、容赦なく削ってきました。ところがこの3年間は都の財政は、1兆3千億円もの増収があるのです。理由は空前の好況に沸く大企業からの税収の伸びです。

私たち共産党都議団は、都民のためにお金を使えと、予算の組み替えを提出しています。小学校6年生までの子どもの医療費助成制度の財源が39億円。所得に応じて3千円、5千円のシルバーパスを発行するのに10億円、慢性肝炎などの医療費助成の復活に4億9千万円、小学校1年生からの30人学級実現のために30億円など…。こうすれば切実な都民要求に応えることができるのです。日野の市政でも同じですが、問題は都民、市民本位に税金の使い方を変えることができるかどうかです。

私が声を大にして主張しているモノレールへのシルバーパスの適用は、5千9百万円まわせば実現できるのです。



《06年1月の無料法律相談》

村松みえ子事務所 午後6時～8時

年始休暇のため予定されていません。

市役所6階・共産党控室 午後1時～3時

1月12日(木)

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

村松事務所 Tel582-0504

中野事務所 Tel599-3350

※生活相談は、随時承っています。ご連絡下さい。

◆ミニ・ニュース◆

☆小学校給食調理民間委託。説明会を一方向的に打ち切りに

来年4月から民間委託実施予定の第二小学校で11月15日、第四小学校で16日、市教委の説明会がありました。すでに実施している中学校での状況などをめぐって保護者からは質問が集中しましたが、市教委は「資料がない」「掌握してない」などと説明ができないにもかかわらず、説明会は一回限りで打ち切りの態度を示しました。

☆豊田1号公園の実現を(市議会質問・中野市議が要求)

浅川沿いの豊田地域に建設が予定されていた豊田1号公園。この用地を利用して市が野球場を計画し問題となっています。中野市議は、この用地は区画整理の減歩で生み出されたもので、市の計画は地権者の意向を裏切る。周辺は公園がなく、若い子育て世帯が道路で子どもを遊ばせている状況などを示し、公園として整備すべきだと要求。また、地域住民の同意なしに計画を進めるなどという追及については市もこれを認め、同意を得てすすめると答弁しました。

☆豊田駅のエレベーター・エスカレーター

中野市議の質問に市は、設置できるようJRと協議すると回答しました

短信

第三次行革素案で馬場市長は「250人の職員削減」と言っています。第二次行革で最大のターゲットになったのが学校の職員でした。事務職員、用務員が削られ、嘱託の図書職員も削られ、中学校では給食調理員も民間委託になりました。しかしその結果の検証が何もなくされています。にもかかわらず第三次行革でも再び先が向けられています▼いま学校へ行く鉄の扉が閉まり不審者警戒のカメラが備えつけられています。玄関に入っても人影がありません。自ら記帳し名札を付け入っていくことになっています。学校は先生だけで成り立つものではありません。二人いた用務員は今一人、これも減らして正規職員を配置しない計画です。監視カメラなど機械化による対応で大丈夫なのか。保育、子育ての部門、学校や図書館などに公務員としての自覚を持った専門職員は本当に要らないのか。検証が必要です▼ジングルベルの後には正月飾りの屋台がたち今年も終わります。選挙に明けくれた一年でしたが、来年も早々に市議選です。ともあれよいお年を。